

〔5〕 次の資料は、日本の小売業販売額の推移を表すものである。これをみて、次の 17  
 ～ 18 に答えなさい。

＜資料＞ 「小売業販売額(名目)【10 億円】」(総務省統計局資料より)

年度	小売業販売額(名目) 【10 億円】	年度	小売業販売額(名目) 【10 億円】
2006 年度	134,705	2013 年度	141,136
2007 年度	136,174	2014 年度	139,466
2008 年度	134,784	2015 年度	140,565
2009 年度	134,097	2016 年度	140,275
2010 年度	135,564	2017 年度	143,005
2011 年度	136,709	2018 年度	145,226
2012 年度	137,184	2019 年度	145,208

17 現代の経済の仕組みについて述べたものとして正しいものを、次の(ア)～(エ)のうちから一つ選びなさい。

- (ア) 市場経済では、消費者は商品の価格を見て、買おうとする量すなわち供給を決める。
- (イ) 市場経済では、生産者は商品の価格を見て、売ろうとする量すなわち需要を決める。
- (ウ) 市場では、一般に価格が上がると需要量は減り、供給量は増える。
- (エ) 市場では、供給量が需要量を上回っている場合、価格は上昇する。

18 小売業販売額の推移について説明した次の①～④の文のうち、誤っているものはいくつあるか、次の(ア)～(エ)のうちから一つ選びなさい。

- ① 2006 年度から、小売業販売額は一貫して増え続けている。
- ② 2009 年度から比べると、2019 年度の小売業販売額は、およそ 11 兆 1 千億円増加した。
- ③ 一番増加額が大きいのは、2012 年度から 2013 年度にかけてである。
- ④ 2008 年度は前年よりも販売額が落ち込んだが、これは東日本大震災の影響である。

(ア) 1つ (イ) 2つ (ウ) 3つ (エ) 4つ